

前3回までで、キャリアがなぜ重要なのか、キャリアとは何か、キャリアの種類についてご説明しました。今回はそのキャリアの個人的な視点での「キャリア開発」、組織的な視点での「キャリア形成」

ナビゲーター

を見ていきましよう。

「キャリア開発」というのは、自分が理想とする「なりたい自分」に近づくプロセスと言ってもよいでしょう。そのためには、自分の現状の正しい認識と自分の目標（ゴール）

人生100年時代に向けたキャリア開発

その考え方と方法

◆ 4 ◆

ル)の設定が必要です。しかもキャリアというものは前回もご説明しましたように、仕事に関するものだけではなく、仕事以外の学び、趣味や遊び、家族、交友関係などを含んでいますので、それらがバランスのとれた状態であることが必要です。

アメリカのキャリアの学者であるサニー・ハンセン博士は、人生には四つの「L」が極めて重要であると言っており、それは仕事（Labor）、遊び（Leisure）、

キャリア開発・キャリア形成

学び（Learning）、愛（Love）で、キャリア開発とはこの四つの要素がより良い状態になるようにすることだと理解できます。そしてそれぞれのLはバラバラに存在するのではなく、関連があります。良い仕事をするには学びが必要であり、仲間同士が互いに協力し合う愛が必要で、時には息抜きのための遊びも必要です。

「キャリア形成」というのは、個人というよりも企業や国家資格のキャリアコンサル

タントについて所轄している厚生労働省が使用する言葉で、仕事を通じて個人が力をつけるとともに組織にとっても有能な人になるという意味合いがあります。現に国は、キャリア形成のために個人（教育訓練給付金等）や企業（人材開発支援助成金）に対して「助成金」を支給してキャリア形成の促進を図っています。

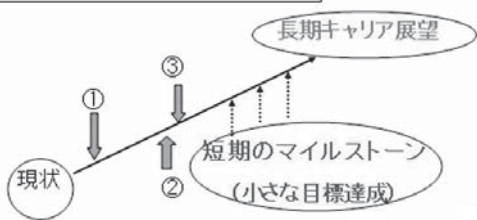
キャリア開発の方法はいろいろありますが、慶應義塾大学の高橋俊介教授は、①毎日

のルーチンの仕事にも意味を見出す努力をする②人脈を耕す③能力向上のための勉強・

切磋琢磨（資格で保証）する——ことが大切であると言います。また、アメリカのクランボルツ博士は「偶然をうまく利用しキャリア開発につなげる」こと、矛盾した表現ですが、「あえて偶然を創り出すこと」が大切だとし、そのためには、好奇心、冒険心、楽観性、持続性と柔軟性が必要と述べています。

■キャリアビジョン <長期目標と短期目標>

- ① 日常業務への主体的取組み
- ② 人的ネットワークの開発
- ③ スキル向上・資格取得等



【日本産業力カウンセラー協会会員・キャリアアコンサルタント・社会保険労務士 杉本和夫】

（火曜日に掲載）

人生に大切な四つの「L」

